

令和6年 玄米の被害調査結果

1 調査の概要

(1) 調査サンプル・粒数

中通り…16 サンプル・348,211 粒

会津…10 サンプル・217,735 粒

浜通り…10 サンプル・227,409 粒

合計…36 サンプル・793,355 粒

(2) 調査方法

25 株を坪刈りし、玄米に調製後、500 グラムを1 サンプルとして調査した。

2 斑点米混入率

斑点米混入率は、中通りで平年より高く、会津、浜通りで平年並となりました(図)。

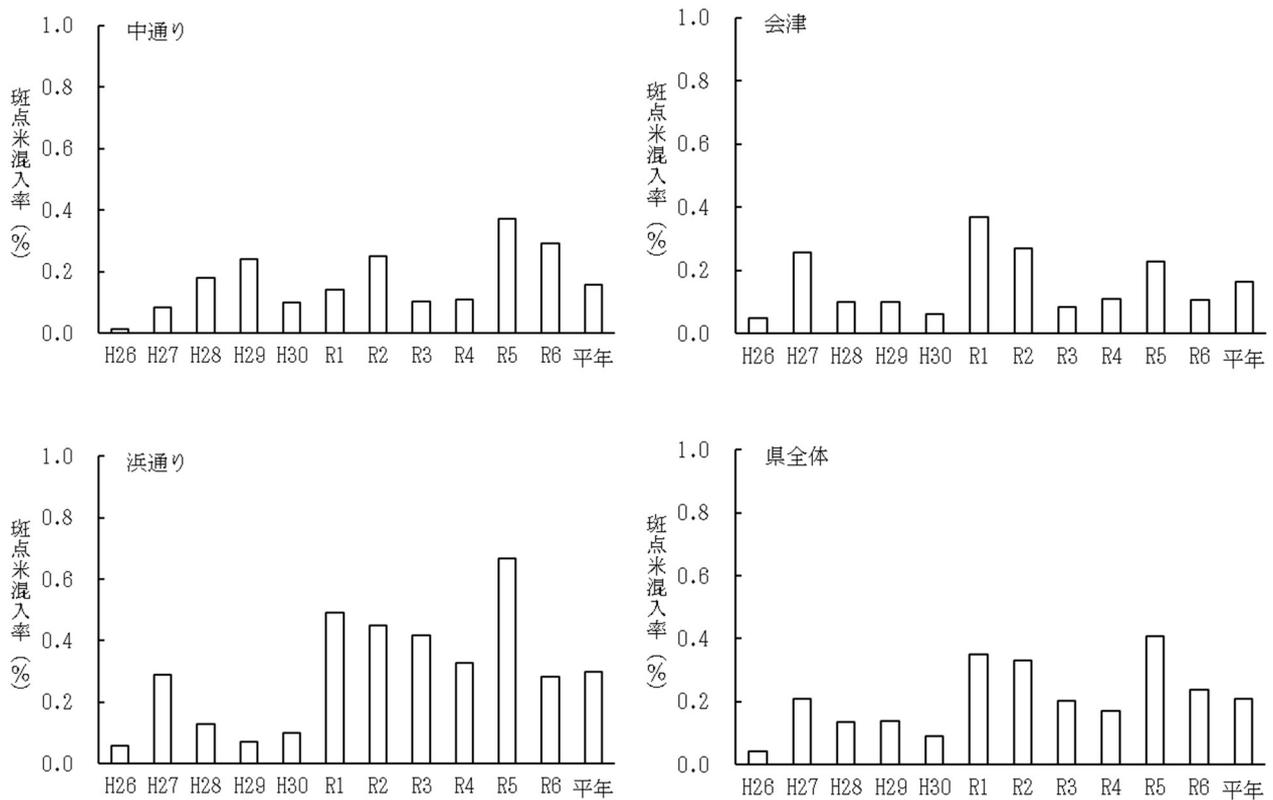


図 斑点米混入率の年次推移 (地域別)

3 地域別の主な加害種

玄米の被害状況及びすくい取り調査の結果から推測した主な加害種は、中通りではカスミカメムシ類、会津ではカスミカメムシ類及び大型カメムシ類（ホソハリカメムシ）、浜通りでは大型カメムシ類（クモヘリカメムシ、ホソハリカメムシ）でした（表）。

表 玄米の被害から推測した斑点米の加害種別割合

	カスミカメムシ類	大型カメムシ類
中通り	63.2%	36.8%
会津	55.2%	44.8%
浜通り	37.9%	62.1%
県全体	53.6%	46.4%